

「イクケン香川」 たまご育て事業

他孫(たまご)応援「子どもにかかわるボランティアきっかけ作り講座」開催報告書

子育て支援に関心を持った人や活力・意欲あるシニア層を主な対象として、活動に必要な知識や技能に関する研修を実施しました。地域の子育て支援活動や子育て支援事業の様子とともに、ボランティアを行う上での留意点などをお伝えすることで、現場の様子をイメージし、ボランティアに関わってみようと思うきっかけを提供する講座となりました。

【日 時】 11月29日(火) 13:15~16:30
 【場 所】 香川県社会福祉総合センター 第2中会議室
 【対 象】 地域の子育てに関心がある方
 【参加者】 20名

今回の講座では、30代から80代の20名がご参加くださいました。

はじめに、香川県社会福祉協議会の南条克哉さんから「ボランティアについて考えてみよう」と題し、ご講義いただきました。子どもに関わるボランティアの経験がない方は、不安や疑問を抱えていらっしゃいましたが、ボランティアの基本的な知識や、自分の「好き」をボランティアにつなげていくこと、健康寿命を伸ばすためには、体力以上に人とのつながりが大事だということなどのお話を聞き、ボランティアへの敷居が低くなったようでした。



次に、「かねとう子ども食堂」の金藤友香理さんからお話を伺いました。実際の運営の仕方や現状、スタッフの協力体制など、子ども食堂の活動について詳しく話してくださいました。子ども食堂に関心のある参加者も多く、大変だけれどやりがいを感じる活動のお話は、とても心に響いているように感じました。

その後、讃岐おもちゃ美術館おもちゃ学芸員の長江陽子さんからお話を伺いました。たくさんのおもちゃを持参して、実際に遊びながら、おもちゃを通して人と関わる楽しさを体験しました。また、おもちゃの知識を持ったおもちゃ学芸員としての声掛けが、来館者の遊びを広げることにつながるといってお話も聞かせてくださいました。



最後に、さぬきこどもの国の尾松佳織さんより、さぬきこどもの国のボランティア「わくティア」の活動について教えていただきました。幅広い年代の方々のボランティア活動をご紹介いただくとともに、ボランティアを始める際は、実際に現地に足を運び、自分がやっているイメージをもつことが大事だとボランティアの心構えをお話してくださいました。

参加者からは、「ボランティアとは何か、詳しく聞けて良かった」「ボランティアは難しいものというイメージよりも、協調、共働が大切ということを知った。」「子育てが終わり、何かしたいと思っており、具体的な話でよく分かった。行動していきたい。」という感想をいただき、まさにボランティアのきっかけになる研修となりました。